

平成30年度 岡山県立岡山支援学校 学校評価書 別紙

(評価は、A：目標を上回った B：ほぼ目標どおり C：目標を下回った)

アンケートはA：十分できている(80%以上) B：ほぼできている(80~60%) C：あまりできていない(60~30%) D：まったくできていない(30%未満)で回答

学校経営目標	具体的計画	本年度の評価項目	自己評価		
			本年度の達成状況	評価	総合評価
1 教育内容の工夫・充実と適切な評価活動による授業づくりの充実(心豊かに・自ら学び)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程検討委員会を中心に、新学習指導要領を見据えた、教育課程を構築し、外部専門家や地域の人的物的資源を活用して授業づくりに努め、一貫性・系統性のある指導と支援を行う。 ・肢体不自由教育に必要な専門性を整理するとともに、個々の教員に必要な専門性や資質の向上を図るための、研修体系を構築する。(専門性が見える化、研修の精選、キャリアに応じた研修設定、課題別サークル研修を利用したOJTの推進、専門性のセルフチェックシートの活用) 	<p><保護者アンケート></p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校(授業)に行くことを楽しみにしている。 ②小・中・高・卒業後まで見通した教育活動を行っている。 ③保護者とよく話し合っって個別の教育支援計画や指導計画を作成している。 ④個に応じた目標のもとで、指導・支援を受けながら学習している。 ⑤お子様の学習について、通知表や個別の指導計画に分かりやすく書いている。 ⑥特別支援教育についての知識・技能をもつ教職員が指導している。 ⑦外部の専門家やボランティアなどを授業や学校行事に活用している <p><職員アンケート></p> <ul style="list-style-type: none"> ①児童生徒が進んで学習に取り組めるように工夫・改善をしている。 ②小・中・高・卒業後を見通した教育活動を行っている。 ③保護者とよく話し合っって、個別の教育支援計画や指導計画を作成している ④個別の指導計画で、個に応じた目標のもとづいて、指導・支援をしている ⑤児童生徒の学習について、通知表や個別の指導計画で適切に評価している。 ⑥特別支援教育についての専門性を身に 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの①から⑦全ての項目の肯定的な回答(AとB)は95%以上であった ・職員アンケートでは、①から⑤の項目の肯定的な回答が90%以上、①、③から⑤の項目の肯定的な回答は、90%以上、⑥の項目の肯定的な回答は73.5% ⑦の項目の肯定的な回答が81.8%であった。 	<p><保></p> <ul style="list-style-type: none"> ①A ②A ③A ④A ⑤A ⑥A ⑦A <p><職></p> <ul style="list-style-type: none"> ①A ②A ③A ④A ⑤A ⑥B ⑦A 	A

		<p>付けている。</p> <p>⑦校内外の専門家やボランティアなどを授業や学校行事に活用している。</p>			
<p>2 保健安全教育の一層の充実と教育環境整備の推進（健やかに）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な健康管理や安全管理の情報を共有し、見える化を図りながら的確な危機管理対応を行う。 ・保護者との合意形成を適切に図りながら医療的ケアを確実に行うとともに、社会のニーズに伴う手技の拡大に対応した安全で安心な医療的ケアの実施ができるよう、校内体制や環境整備を図る。 ・人権やプライバシーの尊重、いじめの認知と予防、個人情報の保護を徹底し児童生徒に真摯に向き合い適切な指導・支援を行う。 ・職員・保護者の防災意識を高めるとともに、防災かばんの準備や防災備蓄を推進し隣接する施設や地域と連携しながら防災体制の推進を図る。 	<p><保護者アンケート></p> <p>⑧病気やけがなどの時の対応を適切にしている。</p> <p>⑨安全で安心な環境を整えている。</p> <p>⑩災害に備えた取り組みを行っている。</p> <p>⑪一人一人の人権を尊重した指導・支援を行っている。</p> <p><職員アンケート></p> <p>⑧健康管理（医療的ケアを含む）及び病気やけがなどの対応を適切にしている。</p> <p>⑨安全で安心な環境を整えている。</p> <p>⑩災害に備えた取り組みを行っている。</p> <p>⑪一人一人の人権（プライバシーや個人情報の保護も含む）を尊重した指導・支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、⑧から⑩の項目すべてで肯定的な回答が 95%以上であった。 ・職員アンケートでは、⑧から⑩の項目すべてで肯定的な回答が 90%以上であった。 	<p><保></p> <p>⑧ A</p> <p>⑨ A</p> <p>⑩ A</p> <p>⑪ A</p> <p><職></p> <p>⑧ A</p> <p>⑨ A</p> <p>⑩ A</p> <p>⑪ A</p>	A

学校経営目標	具体的計画	本年度の達成基準	自己評価（最新）		
			本年度の達成状況	評価	総合評価
3 社会に開かれた学校づくり（つながって）	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の願いに寄り添い、学校生活、将来の自立と社会参加に向けて付けたい力、進路に関する情報等について、家庭と学校が共通理解し、合意形成を図りながら、協力して教育を進める。 参観日や学校公開、ホームページや学校便り等を通して、本校の教育活動の情報発信を行う。 地域の学校との交流及び共同学習や地域資源を活用した教育活動を通して相互理解を深め、共生社会の実現を推進する。 	<p><保護者アンケート></p> <p>⑫学校からのたより（学年通信・進路だよりなど）・ホームページなどで、学校の様子が分かるようにしている。</p> <p>⑬お子様のニーズに応じた進路に関する情報を提供し、相談活動を行っている。</p> <p><職員アンケート></p> <p>⑫学校からのたより（学年通信・進路だよりなど）・ホームページなどで、学校の様子が分かるようにしている。</p> <p>⑬児童生徒のニーズに応じた進路に関する情報を提供し、相談活動を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、⑫⑬の項目の肯定的な回答はともに95%以上であった。 職員アンケートでも、⑫⑬の項目の肯定的な回答はともに95%以上であった。 	<p><保></p> <p>⑫A</p> <p>⑬A</p> <p><職></p> <p>⑫A</p> <p>⑬A</p>	A
4 特別支援教育のセンター的機能の充実（つながって）	<ul style="list-style-type: none"> 肢体不自由教育の拠点校として、市町村教育委員会や、幼・小・中・高等学校等への確かな情報発信を行うとともに専門的な支援を積極的に行う。（教育相談・個別の教育支援計画の作成、障害の状態等に応じた指導内容や指導方法等） 地域の自立支援協議会等へ積極的に参加し、児童生徒一人一人のニーズを踏まえ家庭や医療、居住地の福祉等関係機関との連携を一層強化し、組織的な支援を推進する。 	<p><保護者アンケート></p> <p>⑭お子様のことについて、医療や福祉等関係機関と連携を図りながら指導している。</p> <p><職員アンケート></p> <p>⑭学校は、児童生徒のことについて、医療や福祉等関係機関と連携を図りながら指導している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、⑭の項目の肯定的な回答は95%以上であった。 職員アンケートでも、⑭の項目の肯定的な回答は95%以上であった。 	<p><保></p> <p>⑭A</p> <p><職></p> <p>⑭A</p>	A